

令和5年9月28日

田川市議会議長 陸田 孝則 殿

辻 智之

議員研修・視察等実施報告書

下記のとおり 研修会に出席 ~~・調査(視察)を実施~~ したので、その成果を報告します。

記

- |       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 1 期 間 | 令和5年8月20日(日)～令和5年8月22日(火)          |
| 2 場 所 | 宮崎県 都城市(1日目)<br>宮崎県 宮崎市(2日目、3日目)   |
| 3 内 容 | 全国若手議員の会 九州ブロック大会および全国大会<br>総会&研修会 |
| 4 詳 細 | 別紙のとおり                             |
| 5 所 感 | 別紙のとおり                             |

※ 本文のうち、「研修会に出席」又は「調査(視察)を実施」のいずれかを一線で消すこと。

<p>4 詳細</p>	<p>1日目 都城市 民間施設再生による市立図書館建設及びまちなか広場を拠点とした中心市街地賑わい創出について</p> <p>(1) 日時 令和5年8月20日（日）16時10分～17時10分</p> <p>(2) 場所 都城市立図書館</p> <p>(3) 内容 市内の図書館を市内中心部のショッピングモール跡地に統合し、隣接する施設と連携して賑わい創出に取り組んでいる都城市の事例を、館長の説明を受けながら現地視察をおこなった。</p> <p>2日目 宮崎市 宮崎市の取組と若手市長のこれまでとこれからの挑戦について</p> <p>(1) 日時 令和5年8月21日（月）15時30分～17時00分</p> <p>(2) 場所 KITENビル コンベンションセンター 大会議室</p> <p>(3) 内容 宮崎市長の清山ともり氏による、就任以来取り組んできた政策や宮崎市の目指すべき未来についての講演。</p> <p>3日目 宮崎市 ・地域を元気にする取り組みについて ・政治系メディアの発信のあり方について</p> <p>(1) 日時 令和5年8月22日（火）9時30分～13時00分</p> <p>(2) 場所 市民プラザ ギャラリー</p> <p>(3) 内容 ・日向市マーケティング専門官の田鹿倫基氏による、商店街再生事業を例にとった「数字に基づいた事業評価の在り方」等に関する講演。  ・元テレビ東京プロデューサーで、YouTubeで『日経テレ東大学』や『ReHacQ』等の番組を手掛ける高橋弘樹氏による、YouTubeやネットメディア等の政治系メディアとの付き合い方、政治家自身のSNSやメディアでの情報発信についての講演。</p>
<p>5 所感</p>	<p>全国若手議員の会は、45歳以下で初当選が39歳以下の地方議員が有資格者となる若手自治体議員の全国組織である。全国各地から参加している年齢の近い地方議員との交流は、非常に有意義な機会であった。各自治体や自治体の議会の抱える課題をざっくばらんに語り合う中で、若い世代が地方議会の場で果たすべき役割や、田川市の政治を考える際のヒントも多く得られた。また、同世代の議員との党派を超えた横の連携、情報交換の場は今後の政治活動に有意義なものになると感じた。</p> <p>初日の都城市では、ショッピングモールの跡地開発ということもあり、</p>

当初は商業施設の誘致等を検討する中で敢えて図書館を統合するに至った経緯や、こだわりをもった館内施設やデザインを実際に施設見学する中で触れることができ、学習の場や集いの場としての図書館の役割とそれを果たすための構造の参考になった。一方で、商業施設ではなく図書館を誘致したことによる周辺施設への波及効果の薄さも指摘されているとのことと、跡地活用や施設誘致の難しさを感じた。

2日目の宮崎市長の講演では、医師でもある同氏が宮崎県議会議員を経て40歳(当選当時)という若さで何故宮崎市長を志し、これから何を指すのか、といった話を聞くことができた。宮崎県の河野俊嗣知事もゲストでお越しになり、2人の首長が語る宮崎県、宮崎市に対する思いや展望は、自治体規模は異なるものの、これからの田川市を考える際の参考になる部分も多くあった。

3日目の田鹿氏の講演では、商店街の活性化というテーマが例に挙げられていたこともあり、かつての商店街の姿に対する地元住民のある種の”ノスタルジー”に対し、施策の推進のためには冷静に数字を用いたデータ分析による政策推進および政策評価が重要である、といった言葉に強く共感した。

また、高橋氏の講演では、急速に発達しているYouTube等のネットメディアと議員がどのように付き合っていくか、また、情報発信は必要ではあるが”炎上”のリスクもあることから踏み込んだ内容を書きづらい傾向にある、という参加者の質問を受けてSNSの運用はどのようにあるべきと考えるか、等、プロデューサーの目線からの意見を聞くことができ、有意義な場となった。

【報告年月日 2023年9月28日・議員名 辻 智之】